

一関市議会 総務常任委員会 記録

会議年月日	令和5年10月18日（水）			
会議時間	開会	午前10時10分	閉会	午前10時46分
場 所	第1委員会室			
出席委員	委員長 沼倉憲二		副委員長 佐藤幸淑	
	委員 岩淵典仁		委員 小岩寿一	
	委員 千葉栄生		委員 佐々木久助	
	委員 武田ユキ子		委員 千葉幸男	
遅刻	遅刻 佐藤幸淑委員 千葉栄生委員			
早退	早退 なし			
欠席委員	欠席 なし			
事務局職員	石川主査			
出席説明員	なし			
本日の会議に付した事件	正副委員長の互選			
議事の経過	別紙のとおり			

総務常任委員会記録

令和5年10月18日

(開会 午前10時10分)

書記 : 本委員会の書記を担当いたします、石川です。
よろしく願いいたします。
それでは初回の委員会でありますので、委員長、副委員長の互選を行うことになり
ます。
この互選に関しましては、委員会条例第9条第2項の規定により、年長委員がこの職
務を行うことになっております。
それでは、年長の武田ユキ子委員に、お願いいたします。

年長委員 : 改めまして、おはようございます。

始まる前ですけれども、今日は初回の委員会ということにもかかわらず、複数の委員
が遅参ということには大変遺憾だと、私は年長委員であるがゆえに、そのようなことを
申し上げてスタートさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

委員会条例の規定により、委員長選任までの議事を取り運びます武田ユキ子でござい
ます。

ただ今の出席委員は6名であります。

定足数に達しておりますので、委員会は成立いたしました。

これより本日の会議を開きます。

佐藤幸淑委員、千葉栄生委員より、遅参の旨、届出がありました。

録画、録音、写真撮影を許可いたしておりますので、御了承願います。

次に、委員長互選についてお諮りいたします。

互選の方法をいかがいたしますか、御意見の発表をお願いします。

千葉幸男委員。

千葉(幸)委員 : 指名推選とし、指名権を本員に与えられますようにお諮り願います。

年長委員 : ただいま、委員長互選については指名推選とし、指名権を千葉幸男委員にお与えいた
だきたいとの発言であります、そのように取り計らうことに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

年長委員 : 異議ございませんので、さよう決めます。

それでは、千葉幸男委員、御指名願います。

千葉（幸）委員：委員長に、沼倉憲二委員を推挙いたします。

年長委員：ただいま委員長には、沼倉憲二委員を指名したいとの発言であります、指名のとおりで御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

年長委員：異議なしと認めます。

よって委員長には、沼倉憲二委員が当選されました。
委員長が決まりましたので、委員長と交代をいたします。
御協力ありがとうございました。

（委員長が委員長席に移動）

委員長：ただいまお聞きのとおり、この度の総務常任委員会の委員長の選任におきましては、本員が委員長に選任を賜りました。

御存じのように、2年間、委員長の職を務めてまいりまして、引き続き皆さんと一緒に委員会を運営していきたいと思っておりますので、ひとつよろしく御協力をお願いします。

暫時休憩します。

（休憩 10:14～10:34）

委員長：それでは休憩前に引き続き再開いたします。

これより副委員長の互選を行います。
副委員長の互選の方法についてお諮りいたします。
どのような方法がよろしいでしょうか。
発言願います。

（「委員長指名」の声あり）

委員長：ただいま委員長指名という発言がありましたけれども、その他、御意見の方はありませんか。

（「なし」の声あり）

委員長：ないようですので、委員長指名によって副委員長を互選したいと思います。

副委員長には佐藤幸淑委員を指名したいと思います。
ただいまのとおり選任して、御異議ございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : それでは副委員長には、佐藤幸淑委員が選任されました。
佐藤幸淑委員は、副委員長席に着席の上、挨拶をお願いいたします。

(副委員長が副委員長席に移動)

委員長 : 暫時休憩します。

(休憩 10:35～10:41)

委員長 : 休憩前に引き続き再開いたします。
それでは、佐藤幸淑委員より挨拶をお願いいたします。
佐藤幸淑委員。

佐藤委員 : 改めまして、佐藤幸淑でございます。
この度、委員長に御指名をいただきまして、副委員長という重責をお預かりすることになりました。
今後は委員長を補佐し、委員会のスムーズな運営に尽力してまいりたいと思っておりますので引き続きの御協力のほどよろしくをお願いいたします。

委員長 : 本日の予定の案件は以上で終わります。
この際ですので、今後の委員会活動について意見交換をしたいと思います。
ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : それでは、委員長からちょっとお話ししたいと思いますけれども、私ども総務常任委員会では12の項目の提言を議長にして提出し、議長から市長にその提言を提出した経過がありますけれども、議会運営委員会の委員さん方からの意見の中には、ほかの委員会では総務常任委員会がまとめた内容が全然分からないと、しかも、議長が市長に提案したということは、一体これはどういう経過なのだというような何人かの意見がありましたので、私としては、総務常任委員長として議長に出したのだと。
その後の取扱いは、議長の判断で市長に提示したのではないかと捉えておりますので、議員全員協議会の中でもその旨申し入れて、何か、総務常任委員会の取組がイレギュラーだという発言がありましたので、大変私としては遺憾だと思っておりますので、議員全員協議会の中でその旨を話すつもりですので、皆さんも私と同じ考えではないかもしれませんが、委員長の立場としてはその旨を申し上げたいと思っておりますので、この場で申し上げておきます。
武田ユキ子委員。

武田委員：賛成です。

私も違和感を感じました。

委員会は、活発にしなければならないというような話が、今、議会から特にそういった話が出ている中で、率先垂範して私どもは活動してまいりました。

それをまとめてやったことでありますし、他の委員長方にも働きかけもお願いしましたし、それからこの中には、各会派からここに委員として出席しております。

あらゆることが党派制をとっているとすれば、会派の委員が持ち帰ってそのことを説明するということになってございますから、全くまかり知らんということがあってはならないのは、まさしくそれが機能していないってこと。

私も今日、議員全員協議会でそのようなことを申し上げようと思っておりました。

委員長：暫時休憩します。

(休憩 10:45～10:46)

委員長：休憩前に引き続き再開いたします。

ほかに御意見ございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長：ないようですので、以上で意見交換を終了します。

なお、次回委員会の協議事項や日程などにつきましては、正副委員長で調整し、後日連絡をいたしたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

以上で、本日の委員会を終了します。

(閉会 午前10時46分)